

決算のあらまし

組合の概要

● 地方公共団体の数

市	11
町	8
一部事務組合等	14
計	33

● 組合員数および被扶養者数

一般職組合員	12,067人
特別職組合員	39人
短期組合員	5,354人
市町村長組合員	17人
特定消防組合員	1,486人
長期組合員	8人
後期高齢者等短期組合員	33人
市町村長長期組合員	2人
継続長期組合員	0人
任意継続組合員	302人
組合員数合計	19,308人
被扶養者数	13,583人



共済さん

厚生年金保険経理・退職等年金経理・経過的長期経理

被用者年金一元化後の長期(年金)給付を行う経理です。

共済組合は、組合員保険料・掛金・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会へ払い込みました。

● 厚生年金保険経理 (単位:千円)

収入	19,012,911
支出	19,012,911

● 退職等年金経理 (単位:千円)

収入	1,232,743
支出	1,232,743

● 経過的長期経理 (単位:千円)

収入	76,833
支出	76,833

退職等年金預託金管理経理

全国市町村職員共済組合連合会から預託を受けた資金を貸付経理に貸し付けている経理です。

共済組合は、その運用益をすべて全国市町村職員共済組合連合会へ払い込みました。

● 退職等年金預託金管理経理 (単位:千円)

収入	3,080
支出	3,080

【資産構成】

(単位:千円)

他経理貸付金 337,000

預金 1,135 — その他 2

総額 338,137

短期経理

組合員と被扶養者の病気やケガ・出産・育児・災害等における給付と、前期高齢者納付金をはじめとした各拠出金の納付および介護納付金に係る掛金等の徴収・納入を行う経理です。

組合員数は19,308人と前年と比べ微増となりました。医療費については前年同様高い水準であり支出の半分近くを占めることとなり、高齢者医療制度の拠出金については、前期高齢者納付金が13億2,000万円(対前年比7,078千円増)となるものの、後期高齢者支援金は75歳以上の人口が年々増加しているため、22億2,800万円(対前年約1億円増)と増加傾向にあり、拠出金の合計は支出の34%を占めることとなりました。

また、収入である掛金・負担金の算定の基礎となる組合員全体の平均標準報酬月額、令和7年度末で340,982円(前年度末329,161円)と増加したことにより、組合員1人当たりの年間平均収入の掛金・負担金の合計は令和6年度と比べて11,821円の増加となりました。

依然として組合員1人当たりの医療費が増加傾向にあることから、高齢者医療制度の拠出金と併せて短期財政に大きな影響を及ぼすものと考えられます。

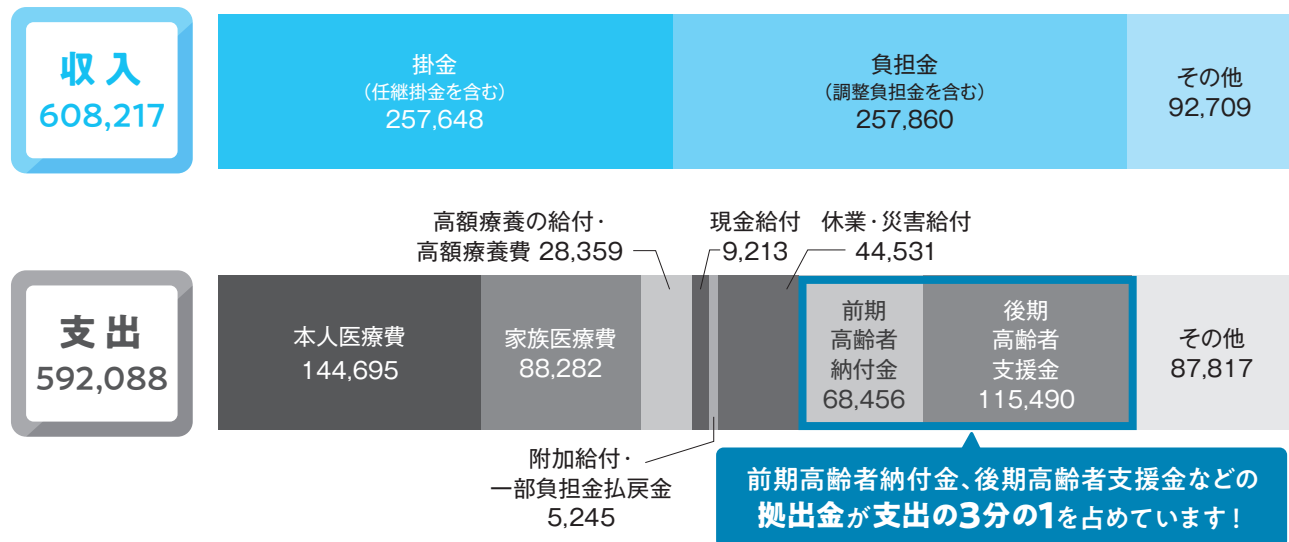
● 短期分 (単位:千円)

収 入	11,742,344
支 出	11,422,577
当 期 利 益 金	319,767
短 期 積 立 金	1,871,164
欠損金補てん積立金	526,475

● 介護保険分 (単位:千円)

収 入	1,126,826
支 出	1,076,265
当 期 利 益 金	50,561
介 護 積 立 金	119,486

【組合員1人当たりの短期に係る年間の平均収支状況】 (単位:円)



- (注) 1.算定基礎となる組合員数は、当該年の4月から翌年の3月までの組合員(任意継続組合員を含む。以下同じ。)数の合計の平均とする。
2.介護納付金の納付に要する費用に係る収入・支出を除く。

業務経理

地方公共団体からの負担金と全国市町村職員共済組合連合会の交付金および短期経理からの繰入金等の収入をもとに、短期(医療)給付および長期(年金)給付事業のための経費、その他共済組合の運営に要する諸費用の支出を行う経理です。

(単位:千円)

収 入	283,289
支 出	292,776
当 期 損 失 金	▲9,487
積 立 金	503,196

保健経理

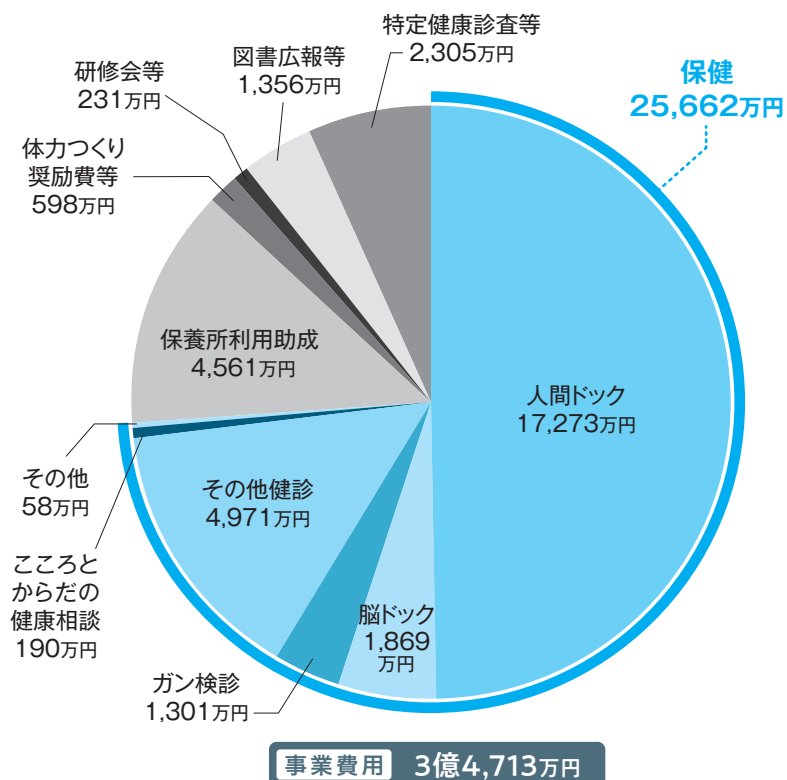
医療費増高対策として、組合員と被扶養者の疾病予防や健康保持増進を目的とした福利厚生事業を行う経理です。

令和7年度は、特定保健指導の利用者増加や健康ポータルサイトの導入で支出が増加しておりますが、昨年度と同程度の利益金を計上しています。

今年度も引き続き特定保健指導の実施率向上のための取り組みを強化し、組合員および被扶養者の健康推進を図ってまいります。

(単位:千円)

収 入	448,918
支 出	435,199
当 期 利 益 金	13,719
積 立 金	1,156,476
欠損金補てん積立金	3,304



宿泊経理

組合員と被扶養者の保養施設として運営している「おびし荘」の経営を行う経理です。

令和7年度は、上半期を中心に関西万博の影響を受け宿泊者数は前年度の10%減少しました。また、支出面では物価高騰の影響を受け損失金を計上しております。

今年度、8月下旬より食事会場を中心としたリニューアル工事を予定しております。休館や部分営業では、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

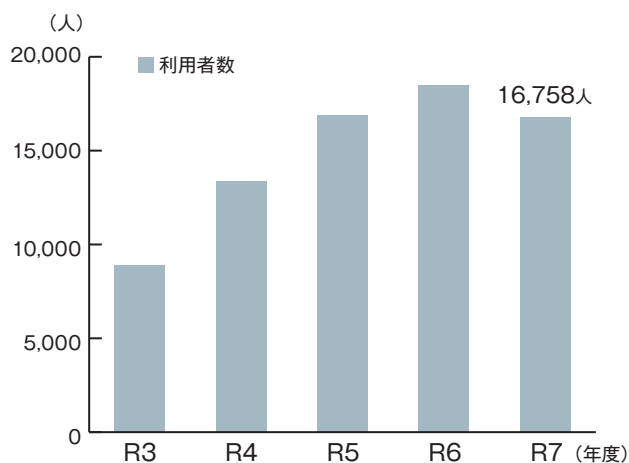
(単位:千円)

収 入	277,511
支 出	294,014
当 期 損 失 金	▲16,503
積 立 金	673,183
欠損金補てん積立金	33,982



みなさんに
ご満足いただける
各種プランを
ご用意しています!

裏表紙へ
GO!



貯金経理

組合員の皆様からお預かりした貯金を安全かつ効率的に運用し、その利益を皆様に還元する経理です。

貯金事業については利率1.1%を維持しております。令和7年度の平均運用利回りは1.56%でした。

引き続き安全性を重視した運用を行ってまいります。

(単位:千円)

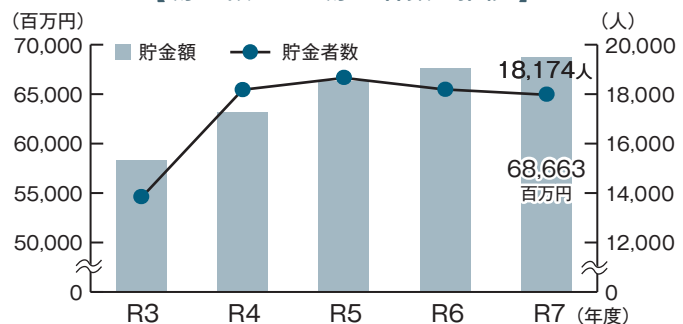
収入	1,216,796
支出	861,241
当期利益金	355,555
積立金	6,587,585
欠損金補てん積立金	3,433,137

●資産構成

(単位:千円)

運用区分	金額	割合
普通・定期預金	3,476,074	4.41%
金銭信託	1,000,000	1.27%
国債	27,888,738	35.38%
地方債	4,599,720	5.83%
政保・公社国債	6,390,656	8.10%
社債	35,480,210	45.01%
合計	78,835,398	100.00%

【貯金額および貯金者数の推移】



貸付経理

預託金管理経理(年金財政)から資金を借り入れて、組合員の皆様の生活必需品や住宅建築等、必要な臨時資金の貸付を行う経理です。

退職等による償還により貸付残高は減少し続けておりましたが、災害貸付・修学貸付を中心に新規貸付が増加したことから、貸付残高は前年度と比べて9%近く増加しております。

各種資金が必要なときには、ぜひ共済組合の貸付をご利用ください。

(単位:千円)

収入	7,838
支出	7,563
当期利益金	275
積立金	304,224
欠損金補てん積立金	33,328

●貸付金の利用状況

(単位:円)

貸付区分	金額	割合
普通貸付	204,730,355	30.71
住宅貸付	246,154,308	36.93
住宅介護対応住宅貸付	3,142,363	0.47
災害貸付	66,937,300	10.04
医療貸付	505,203	0.08
入学貸付	13,625,539	2.05
修学貸付	127,211,689	19.08
結婚貸付	4,252,691	0.64
葬祭貸付	0	0.00
合計	666,559,448	100.00%

【組合員1人当たりの貸付残高と新規貸付件数の推移】

